

1 学期も半ば、大会に行事に大忙しです！！

6月になり、NHK杯全国高校放送コンテスト地区大会です。今年は、県立明石北高校を会場に実施されました。



明石北高校中庭にて ガンパロー

明石高校からは、個人部門に15名がチャレンジしました。結果として、アナウンス部門で佳作3、朗読部門で佳作3となりました。残念ながら、入選とならず、県大会準決勝への進出ができませんでしたが、生徒たちはよくがんばったと思います。初めての大会で“賞”を得た生徒、やっと最後の大会で“賞”を得た生徒、あと一歩で得ることができなかった生徒など様々です。今回の経験を次に活かすことができるよう、ひとり一人が、あきらめず、なげやりにならず、取り組んでいって欲しいと願います。

そして、番組部門です。ラジオ番組部門参加を予定していましたが、作品制作が間に合わずに、残念ながら、棄権となりました。今回、番組部門は参加数が例年よりやや少なく、参加作品については、入選以外の全作品が佳作となっただけになおさら残念ですが仕方ありません。県大会には、テレビ部門と研究発表部門での参加を目指し頑張りたいと願っています。

さらに、6月は大会と同時展開で“明高祭”があります。まさに「あれか、これか」ではなく「あれも、これも」という状況です。“高校生は忙しくて当たり前”、力尽きないように、バランスを取りながら頑張りましょう！！



ポチポチ新しい企画がないかと思いつつ…ないと寂しい??ライブ中継…



今年も県大会(甲南大)にやって来ました。ほとんど意地?諦めないことが大切!!

明高祭では、3年生が中心となり“四谷怪談”の朗読に取り組みました。2年生、1年生も協力し、なかなか演出にも工夫をこらしたものになりました。また、例年通りの「中部講堂からのライブ中継」も行いました。途中、画面の映りが悪くなり“中止”も仕方が無いという場面もありましたが、生徒の機転で具合箇所も見つけたり復旧できました。

さて、県大会、明高祭の翌日です。県大会前日は夜遅くまで、当日はギリギリまで番組作成に取り組みましたが、テレビ番組部門は見送らざるを得ず、研究発表部門のみ参加となりました。何と、受付終了時間ギリギリまで取り組みました。結果として、“奨励賞”を得ることができました。

今回、全国への夢は実現させることができませんでしたが、「40年に1回(昨年40年ぶりに全国出場)」ではなく、近いうちにまた全国の舞台へ進めるように取り組みます。